

大分教育事務所訪問②-23 (計96)

臼杵市立南野津小学校に学ぶ2

学校経営から学ぶ

学校の教育目標を達成するために、「学校評価の4点セット」のそれぞれの取組について、特にPJチームを中心に教職員等の実施率と取組状況、子どもの達成状況と検証、改善策が明確に示されており、実効性のある検証・改善サイクルとなっています。

注目すべきは、全学年国語、算数、社会、理科の単元テストを分析し、どの教科にも共通した課題を明確にしたことです。その後、授業におけるシェアタイムの充実を行うことで無回答の割合が減っているようです。また、各種アンケートから、逆読み聞かせや読書郵便など、司書と協働で取り組む読書活動や、人間関係プログラムを全職員で計画的に取り組むことで継続的な実践が行われています。

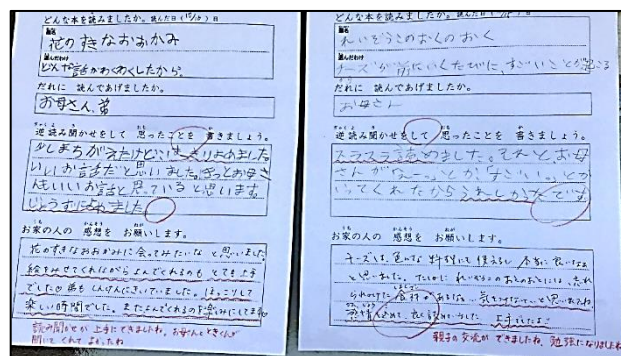
今後は、学校をあげて育成を目指す(教科横断的な)資質・能力について、本校として「定義」することで、最上位目標の絞り込みや共通理解を図ってみたいかがでしょうか。目標の共有ができれば、具体的な取組は担当者や児童会にも任せることができ、当事者意識が高まると思えました。また、そのような資質・能力について、保護者や地域の方とも熟議等を行うことで、より協働的な取組が行われると思えます。



NO.427 2021年10月 臼杵市立南野津小学校

立ち位置

対話をするためには、相手との距離や立ち位置は大切。相手軸で考える。



NO.428 2021年10月 臼杵市立南野津小学校

視線で応援

友達が納得するまで教える。その様子をみんなで見守る。だから、みんな成長する。



NO.425 2021年10月 臼杵市立南野津小学校

良さの発揮

同じ考えてあっても、説明の仕方は少し違う。それぞれの良さを出すことで良いものになる。



NO.424 2021年10月 臼杵市立南野津小学校

説明力

根拠をもとに、端的に自分の考えを発表する。最初から上手くはないが、繰り返すことで自信がもてる。



NO.426 2021年10月 臼杵市立南野津小学校

指先まで

発表したい思いが、腕の伸ばし方や指先にあられる。

授業から学ぶ

どの教室からも、拍手や笑顔があり安心な空気を感じました。また、言葉を大切にした授業を教師が意識していると思えました。

今後は、指導案における「振り返り」は教師が願う具体的なゴールの姿を「子どもを主語」で表してみたいかがでしょうか。そして、互見授業等でその「振り返り」の表記について「ねらい」との連動や評価規準との整合性について協議することで、授業改善がより推進されると思えました。